

基本目標 2**新潟への新しいひとの流れと交流を生み出す****【進捗を測る指標】**

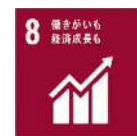
- ◆ **職業を理由とした県外との転出入数**
2,294 人転出超過 (2019 年度)
- ◆ **延べ宿泊者数**
225 万 8 千人泊 (2019 年 日本人速報値)
9 万 2 千人泊 (2019 年 外国人速報値)

【基本的方向】

- 若年者の地元就職への意識醸成に取り組むほか、企業が人材確保を進められるよう働きやすい職場づくりの支援や採用時のインセンティブとなるような支援などにより市内就労の促進を図るとともに、地方暮らしの関心が高まっていることを踏まえて、新潟暮らしの魅力を広く発信し、若者をはじめとした人口の流出抑制や流入促進を図ります。
- 少子・超高齢社会の進展により、地方圏においては地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、地域外の人材が様々な形で地域に関わる「関係人口」としてのつながりは、地域の活性化や将来的な U I J ターンが期待されていることから、様々な機会を捉えて関係人口の創出に取り組めます。
- 来訪者に安心して観光を楽しんでもらうための感染症対策のほか、新しい生活様式に基づいた「新しい観光スタイル」を構築・推進することで本市への観光マインドを活性化させます。併せて、来訪者へのおもてなし態勢を強化するとともに、社会の変化を捉えつつ新潟の魅力と拠点性を活かした誘客活動を積極的に展開することで、観光需要の回復を図り、その拡大につなげます。

【具体的な施策・取り組み】

ア 多様な支援による定住の促進、関係人口の創出



企業の働きやすい職場づくりを支援し、若年者への意識啓発・就労支援などより、市内就労の促進に取り組みます。

また、東京圏在住者の地方暮らしに対する関心が高まっていることを踏まえて、新潟暮らしの魅力を市内外にPRする「新潟暮らし創造運動」の推進に加え、様々な移住支援策などにより、移住の促進に取り組みます。

さらに、人口減少トレンドも踏まえ、今後の地域づくりの担い手となり得る「関係人口」の創出にも取り組みます。

(1) 市内への就労促進

本市の人口増減の内訳をみると、社会動態のうち、職業を理由とした20～24歳の転出超過が特に多いことから、若年者などへの就労支援に取り組むほか、従業員の定着を図るためにも働きやすい魅力的な職場環境の整備に取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症に対応した働き方の変化に伴い、UIJターンによる就業者の創出に取り組みます。

< 具体的な取り組み >

① 若年者などの就労支援

大学などと連携し、若者の地元就労への意識醸成や地元企業を知ってもらうための取り組みを行うほか、人材の育成から定着・採用までの一貫した取り組みへの支援を通じて、若年者などの市内就労を促進します。

② 働きやすい魅力的な職場環境の整備【再掲】

経営者向けセミナーの実施や情報発信に取り組むほか、働きやすい魅力的な職場づくりに取り組む中小企業を支援することで、企業の職場環境の魅力向上とその認知度向上を促進します。

(2) 「新潟暮らし創造運動」の推進による移住促進

東京圏で開催する移住セミナーや市内大学での地方創生に関する講義などにより、新潟暮らしの魅力を市内外にPRする「新潟暮らし創造運動」を推進し、地方暮らしに対する関心が高まっている東京圏をはじめとしたエリアからの移住促進と定住支援に取り組めます。

< 具体的な取り組み >

① 新潟の魅力発信

新潟暮らしの魅力について、市民（特に若年層）に新潟暮らしの魅力を伝え、誇りと愛着の醸成を図るとともに、東京圏をはじめとする移住を考えている人に向けて情報発信に取り組めます。

② 移住検討者への支援

東京圏で開催される移住セミナーなどのイベントを活用し、新潟暮らしの優位性をPRするとともに、本市が開催するセミナーや移住相談などを通じて移住に関する情報を適宜提供するなど、移住検討者への支援に取り組めます。

③ 移住者の定住支援

リモートワークの浸透など働き方の変化なども捉え、東京圏などからのU I Jターンによる就業者の支援に取り組み、企業の人材不足の解消を図ります。

また、移住者の住まいに対する支援のほか、アンケートなどによる移住者のニーズ把握や移住者交流会の開催、サポーター登録制度などにより、移住者の生活サポートに取り組めます。

(3) 関係人口の創出

新潟に縁や興味のある方とつながるきっかけづくりのほか、関係人口に関する取り組みの情報発信やつながりを持ちたい方とのマッチング、本市と多様な形でつながる機会の創出により、将来の移住を見据えた本市と継続的なつながりを持ち続ける関係人口の創出に取り組みます。

< 具体的な取り組み >

① 多様な情報の発信による新潟とつながるきっかけづくり

新潟市サポーターズ倶楽部の活動などを通じて、新潟の様々な魅力を全国に発信するなど、新潟とつながるきっかけづくりに取り組みます。

また、市内外の大学生などに本市の取り組みを効果的に発信するとともに、本市の関係人口に関する取り組みと本市に興味がある方のマッチングを行い、地域や地域の人々と多様な形で継続的につながる関係人口の創出に取り組みます。

② 地域との多様な関わりの創出

市内外の大学生などと地域活動を行う団体による地域課題を解決するプロジェクトの実施や、主に首都圏からの農作業ボランティアの受け入れを通じて、地域の魅力的な人材に触れ、その地域や新潟の魅力を認識してもらい、本市と多様な形で継続的につながる関係づくりに取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）】

- ◆ 大学等新規学卒者の県内就職構成比
55.2%（2019年度）
- ◆ 転入者アンケートによる県外からの移住者数
445人（2019年度）
- ◆ 関係人口の創出事業を通じて今後も継続して本市とつながりを持ちたいと考える参加者の割合
100%（2019年度）

イ 交流人口の回復・拡大



新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛やイベント中止により、宿泊施設をはじめとした観光業の落ち込みや、航空路線の減便・休止など深刻な影響が出ていることから、来訪者から本市での滞在を楽しみ、満足してもらえよう、新しい生活様式に基づいた「新しい観光スタイル」を構築・推進し、本市への観光マインドを活性化させます。

併せて、来訪者へのおもてなし態勢の強化を進めるとともに、社会の変化を捉えつつ、新潟の魅力と拠点性を活かした誘客活動を積極的に展開し、観光需要の回復と拡大につなげます。

(1) 来訪者へのおもてなし態勢の強化

来訪者の安心・安全な観光に向けた感染症対策を実施するとともに、新しい生活様式に基づいた「新しい観光スタイル」を構築・推進するほか、民間事業者が取り組む体験型観光の充実を図ります。また、公益財団法人新潟観光コンベンション協会と連携し、新潟空港、新潟駅といった拠点において、おもてなし態勢の整備を進めます。

さらに、古町芸妓をはじめとした“新潟ならではの”の独自文化の魅力向上を図り、交流人口の拡大につなげます。

< 具体的な取り組み >

① 安心・安全な観光の提供と受入環境の充実

本市観光の受け皿となる宿泊施設等の感染症対策を支援するとともに、官民一体のプラットフォームにより、新たな生活様式に基づいた「新しい観光スタイル」を構築・推進します。

また、公益財団法人新潟観光コンベンション協会と連携し、JR新潟駅内に新たな観光案内所の整備を進めるほか、新潟空港において食文化や豊かな自然といった本市の魅力を映像により紹介するなど、おもてなし感の醸成を進めます。

② 独自文化の魅力向上

文化的価値が高く、みなとまち文化を象徴する古町芸妓の育成支援を行うほか、豪商・豪農文化を色濃く残す文化財などの保存整備を進めます。

また、市民の文化芸術活動を支援し、地域文化の発掘や磨き上げをすることで、本市の文化の魅力を上向きさせます。

③ 多様性の相互理解と交流

障がい者アートや障がい者スポーツを通じて、多様な立場の人々がお互いの価値観を共有する共生社会の実現を目指すとともに、新たな交流を創出します。

また、海外との文化交流を通じて、相互理解の深化による平和・共生の関係づくりや、国際的知名度の向上と交流人口の拡大を図ります。

(2) 新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進

港・空港や高速道路、新幹線といった高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、より多くの来訪者の獲得に向けて、ガストロノミー（食文化）ツーリズムなど、本市の個性を活かした魅力の充実に取り組むとともに、様々なメディアを活用した効果的な情報発信やMICE誘致、減便・休止となった航空路線の回復、クルーズ船の誘致に取り組めます。

< 具体的な取り組み >

① 独自の個性・魅力を活かした来訪者の獲得

本市の食と農と様々な地域資源を結び、食文化を通じて地域の魅力を体験する「ガストロノミー（食文化）ツーリズム」の構築を図るとともに、「マンガ・アニメ」や「鉄道」など、本市の個性や魅力を全国に発信し、誘客促進を図ります。

② 拠点性を活かした来訪者の獲得・交流の促進

港・空港や高速交通ネットワークを有する本市の拠点性を活かし、積極的なMICE誘致及び県内外の自治体との広域連携・都市間連携により、本市への誘客を促進します。

また、ナショナルチーム合宿や国際・全国大会の誘致に取り組むほか、本市の特色・魅力を生かしたスポーツ大会を開催し、交流人口の拡大を図ります。

さらに、既存航空路線の回復・維持・拡充や新規路線誘致、クルーズ船の誘致活動に取り組むほか、姉妹・友好都市、交流協定都市をはじめとした世界のさまざまな地域との交流を継続します。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ◆ **市内宿泊施設の客室稼働率**
72.9%（2019年）
- ◆ **コンベンション主催者アンケートにおける満足度**
87.0%（2019年度）
- ◆ **コンベンション参加者数（累計）**
569,400人（2015～2019年度累計）
- ◆ **新潟空港利用者数**
1,137,691人（2019年度）